

令和4年東北支部総会

(一社)日本空調衛生工事業協会

広報委員長
(株)朝日工業社 東北支店
執行役員支店長 末永 陽亮



令和4年9月28日(水)江陽グランドホテルに於いて、一般社団法人日本空調衛生工事業協会東北支部総会が開催されました。

総会次第は次の通りです

1. 開会
2. 支部長挨拶
(一社)日本空調衛生工事業協会 東北支部
支部長 小林 照和 様
3. 来賓挨拶
(一社)日本空調衛生工事業協会
副会長 小島 和人 様
4. 議長選出
5. 議事
 - ① 令和3年度収支決算報告
 - ② 令和3年度建築設備工事東北ブロック会議収支決算報告
 - ③ 令和4年度事業計画(案)
 - ④ 令和4年度収支予算(案)
 - ⑤ 令和4年度建築設備工事東北ブロック会議収支予算(案)
 - ⑥ その他



総会に先立ち鍵事務局長より「今回の総会は東北支部会員 33 社中、出席 25 社、委任状 8 社となり、定款の定めにより本総会は成立する。」と報告がありました。

次に、小林照和東北支部長より「9 月 21 日に旭川で開催された日空衛全国会議において、藤澤日空衛会長から、当業界には資材高騰と働き方改革の二つの課題があるとの話があった。東北支部会員においても、特に働き方改革への対応における 2024 年 4 月に迫った時間外労働の上限規制は高いハードルであり、6 月に行われた東北地方整備局との意見交換会では 4 週 8 閉所を実現出来る強力な措置を要望した。」と挨拶がありました。



続いて、ご来賓の小島和人日空衛副会長より「業界の事業環境は、ロシアによるウクライナ侵攻、円安および中国のゼロコロナ政策などによる資材高騰、納期遅延によるコスト上昇分の契約変更に苦慮している状況にある。日空衛では契約変更が適正に行われるように業界を挙げて発注者へ要望を挙げていく。」「喫緊の課題として、働き方改革、BIM、CCUS の 3 点があり、特に働き方改革は待ったなしの対応が求められている。生産性向上だけでは解決が難しく、また当業界だけでは解決できない問題であるため、発注者、設計者およびゼネコンと一緒に建設業界全体で取組みたい。」と挨拶がありました。



議事進行では、小林照和東北支部長を議長に選出し、鍵事務局長からの各議案内容説明の後、採決を行い議案は全て原案通り承認されました。

その他の事項では、秋田県空調衛生工事業協会 阿部公雄会長から、令和 5 年 10 月 26 日に秋田市で開催予定の日空衛全国会議について、本部ならびに東北支部への協力依頼と会員各社への参加要請がありました。また、小林照和東北支部長からは、12 月 1 日に予定されている「建築設備工事東北ブロック会議」に向けた、議題・意見提供のアンケートへ協力要請がありました。

以上で総会は無事終了となり、休憩をはさんで日空衛本部からの報告事項に移りました。

日空衛本部 高橋専務理事から「最近の日空衛の活動について」以下の通り報告がありました。

- ・働き方改革アンケート調査
工事部門の労働時間削減に取組を要す、特に土曜日の労働時間削減がキーポイント
- ・建設キャリアアップシステム
登録数の推移と日空衛の目標について
厚生労働省の補助ならびに日空衛独自の補助制度の説明
- ・監理技術者等専任制度に関する見直し方針
専任不要上限額の引き上げと兼任可能制度の新設が検討されている



最後に、秋田県空調衛生工事業協会 阿部公雄会長から日空衛本部に対して「秋田空衛協から問題を提起した共通経費算定の見直しについて、日空衛市場問題委員会から国土交通省に対して要望書を提出していただいたことに感謝申し上げます。」とお礼の言葉がありました。



以上で日程のすべてを終え、散会となりました。